

大黒様と白兔



昔、因幡の国に住んでいた白兔が
大きな波にさらわれて隠岐の島に、
流されてしまいました。

兔はどうしても

因幡の国へ帰りたいたって思っていました。

「何かいい考えはないかなあ。」

あっ、いいことを思いついたぞ。」

兔はゆうゆうと泳ぐワニザメたちに
話しかけました。

「君たちはずいぶんたくさんいるね。

数えてあげるから、因幡に向かって

並んでごらんよ。」

白兔

ワニザメ

「それは面白そうだ。」

兎は因幡に向かって並ぶ、ワニザメの背中を
ぴよんぴよんぴよんと渡っていきました。

「一匹、二匹、三匹、四匹……。」

因幡の国に少しずつ近づいていきます。

兎は嬉しさのあまり

「もう少しで因幡の国へ着くぞ。」

と、叫んでしまいました。

